

HOT NEWS

都議会ネット

■2017年度予算要求発表(東京都)。「築地魚河岸」開業プレオープン(中央区)。小池知事の給与11月～来年1月分までゼロ。
■各会計決算特別委員会(西崎光子)。公営企業会計決算特別委員会(山内れい子)。

東京ネット/地域ネット

東京ネット

国政フォーラム「南スーダン国連平和維持活動(PKO)から自衛隊の「駆け付け警護」を考える」11月9日(水)17:00～19:00 参議院議員会館地下1階B103会議室 講師:伊勢崎賢治 TEL 03-3200-9189

性の多様性はあたりまえーLGBTからSOGIへー11月18日(金)18:30～20:30 調布市市民プラザあくるホール(国領駅) 講師:原ミナ汰 500円 主催:東京生活者ネットワーク多摩南エリア TEL 03-3200-9189

福生ネット

「みんなで話そう会」議会報告会
11月19日(土)13:30～15:30 福生市福祉センター地下1階研修室(熊川駅) TEL 042-553-0701

練馬ネット

ドキュメンタリー映画「さとにきたらええやん」と監督トーク
11月19日(土)18:00～20:30 練馬区役所地下多目的会議室(練馬駅) トーク:重江良樹 1000円(高校生以下無料) TEL03-3993-4899

府中ネット

男女共同参画推進フォーラム講演会「SOSはなぜ届かなかったのかー児童虐待事件を取材して」
11月20日(日)13:00～15:00 スクエア21・府中市女性センター学習室(中河原駅) 講師:杉山春 300円 主催:府中ネット TEL042-360-4443

日野ネット

憲法のお話し会
11月26日(土)10:00～12:00 日野市生活・保健センター301(日野駅) 講師:くぼいなみ TEL 042-514-8695

武蔵野ネット

ドキュメンタリー映画「不思議なクニの憲法」と監督トーク
11月27日(日)14:00～17:00 武蔵野プレイス4Fフォーラム(武蔵境駅) トーク:松井久子 前売り1000円・当日1200円(大学生以下無料) 主催:武蔵野で「不思議なクニの憲法」を見る会 TEL 0422-36-3767

「パパ、遺伝子組み換えってなあに?」上映会&講演会

12月3日(土)13:30～16:30 武蔵野市芸能劇場2階小ホール(三鷹駅) 講演:天笠啓祐 500円 TEL 0422-36-3767

生活者ネットワーク3つのルール
1 議員は交代制(ローテーション)
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2 議員報酬は市民の政治活動資金に
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3 選挙はカンパとボランティアで
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでカンパ(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

豊洲新市場「消えた」盛り土とナゾの「地下空間」 ないがしろにされた食の安全対策

小池百合子新知事を迎えて初となる都議会第3回定例会(9月28日～10月13日)が開催された。本会議一般質問では、都議会生活者ネットワークを代表して小松久子が登壇。食の安全を揺るがし、都政への信頼を失墜させた豊洲新市場問題を焦点に徹底追及。集中審議の場の設置とともに、公文書の範囲拡大・管理で情報公開の推進を要請。最終日の13日、今回の不祥事を徹底究明するための、超党派による豊洲問題特別委員会設置が実現した。



東京生活者ネットワーク
都議会議員 [杉並区]
小松久子



都議会本会議での一般質問。都議会生活者ネットワークを代表して小松久子が登壇、豊洲新市場問題で都の責任を厳しく追及。10月5日

小池百合子新都知事は、モニタリング調査結果の出る来年1月まで安全性の判断はできないとして豊洲への市場移転時期の延期を宣言。都がこれに伴う影響への対応に追われていた矢先、ナゾの地下空間や基準値を超えるベンゼンが出るなど豊洲の驚くべき事実が次々と明るみに出た。

豊洲は東京ガス工場跡地で、環境基準の最大4万倍超のベンゼンが検出された汚染土壌だ。市場を造るために、汚染を除去し、さらにきれいな土で盛り土することになっていた。

クは実態を把握するため、9月13、14の両日、豊洲市場を視察。水産卸売場棟と青果棟の地下を実際に見て、水がたまっている現況を確認した。しかも問題発覚まで、都のホームページには盛り土の上に建物がある図が掲載、都議会でも敷地全面に盛り土したと述べてきた。事実を都民にも都議会にも説明しておらず、市場の安全性は根底から覆された。

豊洲問題特別委員会の場で真相の徹底究明を！
マスコミ情報が飛び交う中で、ついに9月29日都の地下水モニタリングで環境

基準を超える有害物質が検出。知事は、プロジェクトチームを立ち上げ専門家会議も復活、土壌汚染に関して調査検証するとしている。「最終的に安全性の確認は誰がどのように判断するのか」という生活者ネットワークの一般質問には、知事が総合的に判断すると答弁。食の安全という何にも代え難い価値をどのように確認していくのか。このままでは、豊洲移転を到底容認することはできない。

都の内部調査では究明どころか、真実がまったく明らかにされない報告書となった。歴代市場長や管理職の責任のなさが問われる中、集中審議が行われた経済・港湾委員会では、地下空間を提案したのは設計事務所や技術会議という虚偽の報告で責任逃れを図ったことが判明。都庁の嘘と責任転嫁、隠蔽体質が露呈、都政への信頼は失墜した。都議会の責任も問われて

おり、生活者ネットワークの中で特別委員会の設置を強く主張、議会最終日の13日、超党派で構成する特別委員会設置が実現した(生活者ネットワークを代表して小松久子が参加)。これまでの関係者を含め参考人を招致するなど真相を徹底究明し、安全性を検証していかねばならない。

一般質問では、ほかに「役に立たない無駄な公共事業の象徴・八ッ場ダムの都負担99億円追加に反対!」「待機児対策と保育環境整備」などの問題も言及。新理事体制を機に、今こそ市民に開かれた、基礎自治体を真に応援する都政への変革を求めていく。

生活者ネットワークは、食の安全を第一義に、豊洲は市場適地ではなく別の道を、として晴海をその候補にと提案(08年経済・港湾委員会、第2回定例会本会議討論)。一貫して、豊洲の土壌汚染問題に警鐘を鳴らしてきた。9月13日と14日、豊洲の現況を視察する都議の(左から)西崎光子、山内れい子、小松久子

生活者ネットワークは都内35の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。